

北九州市立大学 本館



外観

北九州市立大学「北方キャンパス」は、開学以来の歴史を誇る学びのステージ。地上14階建のインテリジェンスビル「本館」をはじめ、留学生との交流拠点「国際教育交流センター」などの施設が充実している。



トイレ入口

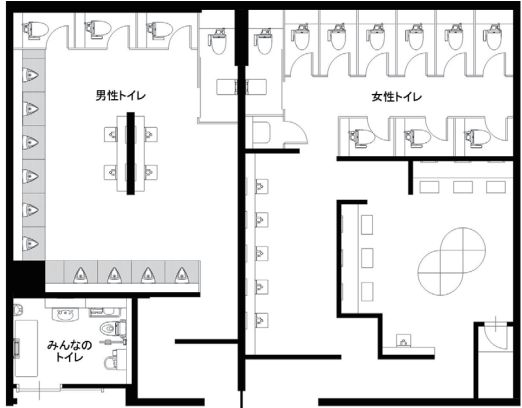
デザイン性の高いトイレエントランス。大きなイラストサインと色分けにより、男性トイレと女性トイレがひと目でわかるようにしている。



女性トイレ
スタイリングコーナー

女性トイレには、改修前のトイレにはなかったスタイリングコーナーを設置。中心には、学生同士のコミュニケーションの場所となるようにソファを設置している。

トイレ図面



水まわりの特長

改修の経緯

「北九州市立大学」は、1946(昭和21)年創立の公立大学。学習環境の改善を進める当校では、2019年度に学長指示により学生を中心に、職員やアドバイザーも全員女性で構成される「女子トイレ改善プロジェクト」を立ち上げた。女性トイレの現状や問題点の列挙、改善案の検討をし、トイレ改修に要望を盛り込めるように、報告会を実施。TOTOも発足当初からアドバイザーとして携わり、学生の気づきや改善案に対しアドバイスやレイアウト提案を行った。「本館」では、女性トイレに隣接する男性トイレ・多機能トイレもあわせて改修を実施し、2020(令和2)年12月に竣工した。今後も、プロジェクトによる提案内容を生かした改修が進められる予定である。

水まわりの特長

改修以前は全体的に暗いイメージで和式便器も多く設置されていたが、今回の改修により内装を一新し、明るい印象に改修。大便器は、すべて洋式便器に変更してウォシュレットも設置。さらに「教科書を持って移動する学生や荷物の多い就活学生」から荷物置き台やフックの設置などの要望が多く上がっていたため、大便器ブースにライニングやフックを備え、男女トイレ1ヶ所ずつにフィッティングボードも設置し、荷物配慮を充実させた。また、改修前にはなかったスタイリングコーナー、フィッティングルームが女性トイレ内に設置され、多く意見が上がっていたLED付化粧鏡を採用。随所に、プロジェクトによる提案内容が盛り込まれたトイレ環境が実現した。

建築概要

名称	北九州市立大学 本館
所在地	北九州市小倉南区北方4-2-1
施主	公立大学法人 北九州市立大学
設計	株式会社大屋設計
施工	有限会社簾工務店
竣工年月	(改修)2020年12月
建築面積	5,227.88㎡
延床面積	25,352.02㎡
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート・地下1階、地上14階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュバルブ式:CFS494系
ウォシュレットP:TCF589AE
ウォシュレット アプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840PS
棚付二連紙巻器:YH702／自動洗浄小便器:UFS900系
ハイドロセラ・フロアPU:AB690BR／壁掛ハイバック洗面器:LS125系
手洗器:L570A、L650D／台付自動水栓:TENA41A／水石けん入れ:TS126AR
コンパクトオストメイトパック:UAS81RDB2NW
背もたれ:EWC385CS／ベビーチェア:YKA15S／フィッティングボード:YKA41R
収納式多目的シート:EWC520ARS／パブリック用手すり:T112CL12、T112HP7



女性トイレ
スタイリングコーナー

ゆったりとお化粧直しができるシッティングタイプのスタイリングコーナー。顔全体に光が均一に当たるよう設計されたLED照明付鏡を採用。部活や就職活動時の着替えに配慮し、フィッティングルームを設置している。



女性トイレ
大便器ブース

すべて洋式化に改修。以前は荷物置き場がなかったが、ライニング・フィッティングボード・フックを設け、荷物配慮を充実させた。操作部は留学生にもわかりやすいように3ヶ国表記している。



男性トイレ 全体

小便器コーナーからでも、大便器コーナーからでも使用がしやすいように洗面コーナーを中心に設置。入口からひと目で空き状況がわかる、開放感のあるレイアウトとなっている。



男性トイレ
大便器コーナー・全身鏡

学生から「荷物を置く場所がほしい」との要望があり、ブース内にライニング・フック・フィッティングボードを設置することで荷物配慮を充実。さらに、身だしなみをチェックできるように全身鏡を設置している。



みんなのトイレ 入口

改修前は「多機能トイレ」の表記だったが、性的マイノリティへの対応を視野にいれ、だれもが使用しやすいよう「みんなのトイレ」に変更している。



みんなのトイレ

通常の開校時はもとより、大学祭や災害時避難所拠点となった際の備えも考慮され、車いす使用者やお子様連れ、オストメイトなど、さまざまな使用者に対応できる設備を完備している。